

校 訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

第三中学校だより

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～
令和7年12月1日発行

「悠久の時の中で」

校長 鈴木冬樹



先日、和光市立第三中学校の創立50年式典を、和光市立第三中学校体育館にて開催いたしました。午前は50年記念式典、午後は合唱コンクールを実施しました。午前中の式典では、教育長をはじめとするご来賓の参列を賜り、厳かな中にも生徒の楽しそうな様子や応援歌の披露もあり充実した時間になりました。これも偏に日頃より本校教育にご理解ご協力いただいている地域・保護者の皆様・いちょうの会の皆様等のご協力あってのものと感謝申し上げます。生徒は、式典後からの合唱コンクールを控えており、緊張する様子が見られましたが、式典に臨む姿勢は大変立派だったと思います。式典でもお話いただきましたが、本校は昭和51年4月1日に開校して以来、地域とともに歩みを続け今日にいたりました。卒業生も、8124名を数えるまでに至っております。少し本校の歴史についてお話します。



開校当時、草創期の時期は、校歌や校章の制定がありました。式典では、校章をモチーフにした「応援旗」を披露しました。現在も使用されている校章は、当時の生徒から募集し決定されたものです。また、現在の校訓である「健康な体 豊かな心 たゆまぬ学習」も制定されました。このころの校地内の様子を写真で見ると樹木が乏しい様子が見えます。しかし、年を追うにつれ、卒業生からの寄贈や生徒と教職員、PTAや保護者、地域の方々が協力して植樹活動などをおこない、教育環境の整備が進みました。現在では、折々の季節を楽しませてくれるだけでなく、自然の偉大さを教え、日々の生活に安らぎを与える木陰もできました。

また、生徒会活動や部活動等での多方面にわたる取り組みを通して、「わこさん」の名前を大いに高めてきました。このような先人先輩方のご苦勞と堂々と築いてこられた輝かしい実績を顧みると、万感胸に迫る想いと、溢れる感謝の気持ちで一杯です。本校校歌には「意気と誇りの旗、情熱と誠の旗、夢と理想の旗 を かかげよう」との歌詞があります。今後も、校歌にあるように和光市立第三中学校が、「我が母校」と誇りをもって語り継がれ、夢や理想が実現できるよう、学校の教育目標「健康な体 豊かな心 たゆまぬ学習」の実現にこれまで以上に努力してまいります。

式典後の午前と午後の合唱コンクールでは、生徒が一生懸命に歌う姿が印象的でした。クラスが一丸となって目標に向かう姿勢に目頭が熱くなりました。どのクラスも選曲した歌にそれぞれの思いを込めて歌うことができたと思います。練習の段階から歌詞の意味を考えて覚える、歌い方を学ぶ、曲に強弱をつけるなど、授業で習ったことを実現すべく取り組み、大いに成果を出しました。6、7組と有志で演奏した太鼓も見事でした。練習では苦勞もありましたが、参加者一人一人が役割を全うし、見事な音を作り出しました。この合唱コンクールを通して得たクラスの絆や経験は何物にも代えがたい財産です。生徒一人一人が大切にできるよう学級でも指導してまいります。

本校合唱祭の2日後、金賞を受賞した3クラス（1年4組、2年2組、3年3組）がサンアゼリアで歌いました。3クラスとも素晴らしい合唱を披露してくれました。どの学校の先生も「素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。



最近の気候の様子を見ていると、秋があっという間に過ぎようとしています。北海道では積雪も記録しましたし、各地の山では初冠雪の便りも届いています。寒暖の差も激しくなってきましたので、体調には十分ご注意ください。本校でも、インフルエンザを理由の欠席も増え、学年・学級閉鎖を実施しました。今後も、更なる換気の徹底等の感染対策に取り組んでいきます。2学期もまとめの時期となりました。有意義な2学期にするため、今後も、学習や部活動等の教育活動に取り組んでまいります。